



第 36 号

発行  
山田学区  
社会福祉協議会

平成11年度

山田学区

# 社協総会を開催!!

平成十一年度山田学区社会福祉協議会総会が、五月九日(日)午前十時から山田公民館で開催され理事・評議員四十数名が出席し本部事務局七名を加え議長に評議員の杉江好道氏を選出、平成十年度事業報告および会計決算報告並びに会計監査報告の議案を一括提案、各議案を慎重に審議し満場一致で承認されました。

続いて会則一部改正案が提案され審議の結果一部修正のうえ承認可決されました。



引き続き役員改選に移り出席者の中から五名の方を選考委員に選任し別室において協議の結果、別記の通り平成十一年度役員が選出されました。

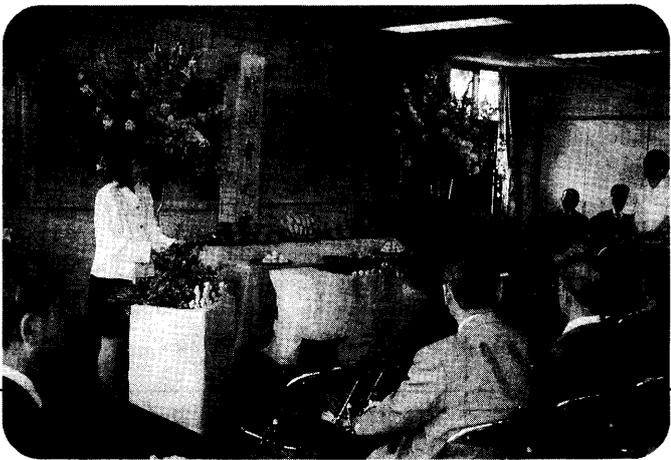
今後とも地域住民の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

続いて平成十一年度事業計画案と会計予算案の二つの議案が一括提案され、議

案審議に先立ち会長より平成十一年度事業計画案に対する山田学区社協の基本方針が説明され、急速に進展する少子・高齢社会に対応し高齢者や子供達・障害者等すべての住民が地域で安心して暮らせる社会づくりを目指すため、小地域の福祉ネットワーク活動の推進が大きな課題となります。

本年度は特に来年四月から実施される介護保険制度の理

## 平成十一年度山田学区 戦没者追悼式を挙行!!



六月二十日(日)山田公民館において平成十一年度山田学区平和祈念戦没者追悼式典が午後二時から、学区内一七五柱の御霊の御前でご遺族を始め多数のご来賓や一般参列者をお迎えし厳粛に執り行われました。

第二次世界大戦を含め今世紀戦争のため世界中で多くの人々が犠牲になり、日本人だけでも三百拾万余名に達し軍人を始め大勢の一般国民が尊い生命や財産を戦争のために失いました。

戦後、早くも五十有余年の歳月が流れ戦争を知らない世代が多くなり、悲惨な戦争の悲劇が歴史の中に埋没されつつあります。

世界の流れは冷戦の終結を契機に平和への機運が醸成されつつありますが、地球上ではコンボ紛争やカシミール問題など今も各地でイデオロギーや宗教間の相違による地域紛争やテロ行為が発生し、多くの市民が犠牲になっております。

私達は、二度とこのような悲劇を繰り返さないよう平和を守り戦争の悲惨さを子供達に伝承し、風化しないよう伝えると共に平和で豊かな社会を作るため努力しなければならぬと思います。

ここに戦没者の御霊に対し敬弔の誠を捧げ永遠の平和を祈念し、併せてご遺族を始めご参列頂きました皆様のご健勝をお祈りします。

式典執行の準備等のため、ご協力頂きました役員を始め関係各位に厚くお礼申し上げます。

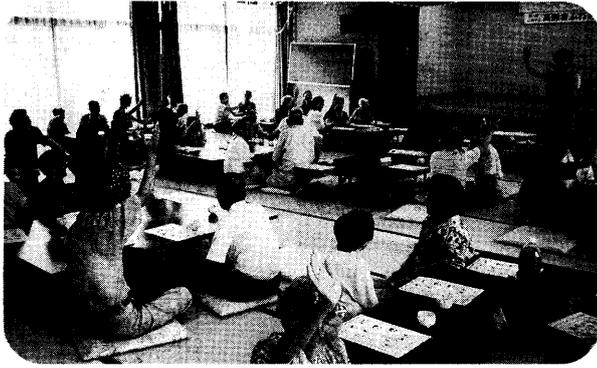


# 高齢者 ふれあいサロンのご案内



山田学区社会福祉協議会では、学区内の在宅一人暮らし老人や高齢者世帯を対象にボランティアとの日常的なふれあいを通じて、孤立感の解消・心身機能の維持向上、お年寄り同士や地域の人々とのふれあいの輪を広げて行くことを目的に「高齢者ふれあいサロン」を開催しております。

本年度も山田公民館やロクハ荘において年四回開催する予定であります。



学区内の対象者の方々も年々増加の傾向にあり、今年度は在宅一人暮らし老人の方が九十余名、高齢者世帯も九十余名に増加し、この二つの対象者だけでも、合計二百八十余名を越える人数となっております。

本年度も対象者の参加募集や出席者の取り纏めなどに、各町の福祉協力員の皆さんにご協力をお願いし事業の推進に取り組んでおります。

なお、本年度の開催予定は次の通りです、対象者の方々は遠慮なくどしどしご参加下さい。

**第一回** 対象者学区東部地域  
八月五日(木) 10:00~14:30  
場所 山田公民館  
「介護保険制度について」  
ビデオ鑑賞など  
昼食 手作り料理  
舞踊・ゲーム・カラオケ等  
☆お手伝いは、  
日赤奉仕団、  
V. みのり会の皆さん



**第二回** 対象者学区南部地域  
十月八日(金) 10:00~14:30  
場所 山田公民館  
「介護保険制度って何」  
ビデオとお話  
昼食 手作り料理  
舞踊・ゲーム・カラオケ等  
☆お手伝いは、  
健康推進員、  
V. たんぼぼの皆さん

**第三回** 対象者学区北部地域  
十二月十日(金) 10:00~14:30  
場所 山田公民館  
「高齢者の冬の健康」  
交通ビデオとお話  
昼食 手作り料理  
舞踊・ゲーム・カラオケ

**第四回** 対象者学区全域  
二月四日(金) 10:00~14:30  
場所 ロクハ荘  
「今日も元気で健康に」  
講座・ビデオ・血圧測定  
昼食 手作り料理  
カラオケ・入浴など  
☆お手伝いは、  
V. ともしびの皆さん

## 本年度4、11、2、4月 福祉協力員ご紹介!!

平成十一年度、山田学区社会福祉協議会の小地域福祉ネットワーク事業として、小地域(各町内)において高齢者を対象に「ほのほのサークル支援事業」とか「ミニふれあいサロン」等の交流やふれあいを目的とした事業が計画されております。

この事業は、高齢者の皆さんの孤独感の解消や心身の健康を維持するための予防的な活動、自立心の涵養と社会参加の機会を作り交流の場として各町の会館等を利用、参加者とボランティアが企画・運営して楽しい仲間作りと、い

学区婦人会の皆さん  
◎参加料は  
お一人二〇〇円です。  
◇平成十一年度は、第四回目は市の福祉センターロクハ荘で、学区全域の皆さんを対象に開催する予定です。  
市の福祉バスをチャーターして送り迎えをさせて頂きますので、多くの皆さんのご参加をお待ちします。

き場作りが目的です。  
学区社協がこれをバックアップし連携して事業を推進することになっております。

このような事業を通して小地域の福祉ネットワーク活動を推進、各町に福祉の網の目を広げ繋げてゆく活動の担い手として、山田学区十五町の各町内会役員の一員として大いに活躍が期待される福祉協力員の皆さんをご紹介します。  
本年度から三百戸以上の町内会からは、二名の福祉協力員の方を選出して頂いております。





# 介護保険制度を学ぶ!

## 福祉講座・福祉懇談会

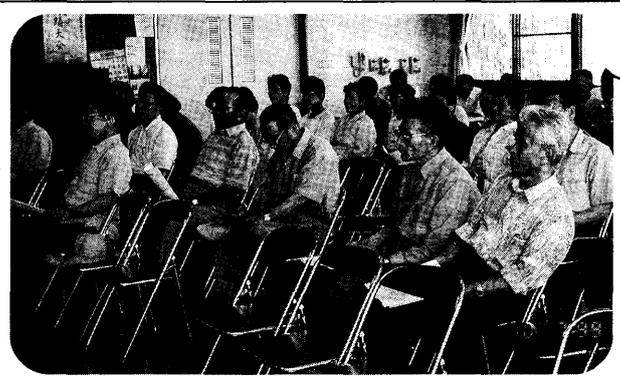
- (敬称略)
- |        |       |              |       |
|--------|-------|--------------|-------|
| 北山田町、  | 宇野 一  | 出屋敷町、        | 久保 繁治 |
| ”      | 田淵 信寿 | 新田町、         | 山内 久代 |
| 五条町、   | 清水 勉  | ”            | 佐山たつ子 |
| 山田町、   | 山岡 重雄 | 陽の丘団地、       | 景山ヒロ子 |
| 南山田町、  | 岸本 利量 | ”            | 松浦 八重 |
| 岡 町、   | 磯野 徳馬 | 三ツ池町、        | 在田三千雄 |
| 不動浜町、  | 岡 一栄  | 出屋敷団地、       | 入江 義雄 |
| 新南浜町、  | 蔵田 敏明 | 御倉町、         | 小野田 操 |
| 南山田団地、 | 鶴飼 博  | 以上十九名の方々です。  |       |
| 木川町、   | 柴田 常雄 | 各町内会皆様のご協力を、 |       |
| ”      | 西村 秀雄 | よろしくお願いします。  |       |

七月十日(出) 午後一時三十分から山田公民館に於いて介護保険制度についての学習講座が、山田民生児童委員協議会・学区老人クラブ連合会・学区社会福祉協議会の三者共催により開催されました。講師に草津市社会福祉協議会の竹中常務をお迎えし、平成十二年四月から施行される介護保険制度について、参加六十名余の受講者が学習し講義を受けた。一口に介護保険と言っても議論の始まりから制度導入ま



で極めて短時間で進められており、国の施策としては例のない早さでありそれだけ我が国の高齢社会の進展と、介護問題の深刻さが表裏一体の課題として目前に迫って来た証左である。核家族少子化問題が従来からの家庭介護の基盤を崩壊させたと言っても過言ではないと思います。現在我が国では六十五才以上の高齢者は二千六十二万人うち一人暮らしの人は二百七十二万四千人、実に十三、二%にもなります。一方、六十五才以上の高齢者で在宅介護を必要とする人は百万四千人と大台を超え、このうち寝たきりの人は三十一万六千人を数える。家族の細分化と一人暮らしの急増、その長くて孤独な老後をどう支えるのか。今、我々に突きつけられた最大の課題ではないでしょうか。講義終了後参加者からの介護保険全般についての質疑応答の時間を設け、多くの質問が出され有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。保険料の算定や徴収・要介

## 平成11年度 役員紹介



去る、五月九日(日) 山田公民館に於いて、平成十一年度山田学区社会福祉協議会総会が開催され、本年度の役員改選が行われ新しく次の方々が出選され承認されました。本年度学区社協役員事務局員は次の通りです。

会長 井上 昌之(自治連)  
 副会長 藤田 健二(自治連)  
 ” 竹川 昭夫(民児協)

護認定やサービスの質の問題等今後に大きな課題が山積するなか、高齢者自身も行政等の福祉制度を学習し理解すると共に、自らも健康等に十分留意し自立するよう心掛けなければならぬ時代が到来したと思います。この様な学習の機会を通じ身近な問題として国や行政などの福祉について学習し、地域住民相互が話し合いや支え合える場として、小地域の福祉ネットワーク活動につなげていきたいと思います。

以上、役員事務局員一同は本年度も皆様と共に地域の社会福祉の向上に、人と環境に優しい住み良い町づくりと小地域の福祉ネットワークの推進に、取り組みたいと考えております。

皆様の暖かいご支援・ご指導をお願い申し上げます。

副会長 馬場 恭子(婦人会)  
 ” 岸本 誠治(老人ク)  
 会 計 藤田せつ子(〓代表委)  
 事務局長 ” (〓)  
 監 事 馬場 常雄(会 員)  
 ” 宇野 喜好(〓)

# ほのぼののサークル 支援事業とは!!



平成九年度後半から新しく小地域福祉ネットワーク活動の一環として、「ほのぼののサークル」支援事業が、新しく学区社協の事業として加えられました。

町内単位での小地域福祉活動として、家に籠りがちな高齢者の皆さんや社会参加が不自由な虚弱体質の方に、心身の健康を維持するための予防的な活動として、町内の会館や草の根ハウスなど参加者が

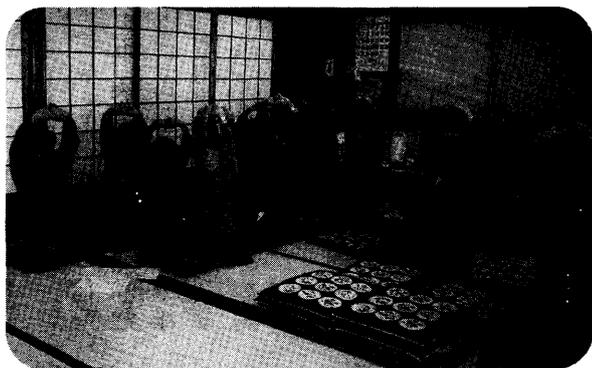
歩いて行ける場所で、参加者とボランティアが企画運営する楽しい行き場づくりをするのが目的です。

自立の機会を作り小人数で楽しく話合いや趣味・ゲーム・料理(軽食)づくりなど、皆んなで楽しく集える「いき場(生き・行き)づくり」を推進し、学区社協がこれをバックアップし活動につなげて行く事業として位置付けられています。

高齢社会を迎える中、既に各町に於いて仲間同志やグループ、老人会等で定期的集まるよう役員一同、地域住民皆様の協力をお願いしたいと思います。

学区社協では、本年度は学区内の各町の皆さんにご要望があれば何時でもお手伝いをして頂けるよう取り組んでおります。

同時に、この事業に於いては、学区シルバークラブ等のご協力を頂き各町内の情報等の提供を受け学区全体に「ほのぼののサークル」活動や「ミ



ニサロン」を広げたいと考えております。

地域の特徴に合わせ農繁期等も考慮し、各町の実情を見ながら定期的な活動につなげるよう役員一同、地域住民皆様の協力をお願いしたいと思います。

参加される方には特に制限はありません。少ない人数でも楽しい仲間同士の集まりでしたら結構です。

会合の開催予定が決まりましたら、ご遠慮なく社協までご連絡下さい。少しですが助成もさせていただきます。

## 介護保険講座

## 講師派遣について!!

平成十二年四月から介護保険制度が施行され、高齢社会の進展のなか介護を必要とする状態になっても、自立した生活ができるよう高齢者の介護を社会全体で支える仕組みを作る制度です。

本年十月からは、自治体に於いて要介護認定の申請作業が始まり、申請は本人や家族の他、ケアプラン作成事業者や介護保険施設にも頼んで申請することが出来ます。

しかし、保険料がいくらか介護サービスの問題とか色んな問題が沢山あり、なかなか中身を理解することが難しいのが現状です。

そこで学区社協では、学区内の各種団体等に呼び掛け市行政等に対して介護保険の学習の講師派遣について、取り次ぎを受け付けております。二十名以上の集まりであれば平日の午前九時から午後九時頃まで出前講座を行って頂けます。費用は無料です。

二週間前までに申し込むことになっておりますので、ご希望の団体・グループ等がございましたらご遠慮なく、山田学区社協までご連絡をお願いします。

## 編集後記



梅雨も終盤を迎え蒸し暑い毎日です。

いよいよ夏本番ですが、皆さんには如何お過ごしでしょうか暑中お見舞申し上げます。子供達も夏休みに入り地域にも久しぶりに元気な声が聞こえてきます。

今年も早や半分以上が過ぎお盆も目前です、何だか月日の過ぎるのが早く感じられ、新鮮な興味が少なくなつたのかそれとも忙しくて余裕がなかったのか、多分後者だと自分で納得しております。

そんな季節に、社協だより第三十六号をお届けします。本年度は、特に介護保険について勉強したいと思っております。皆様と共に新しい世紀に向かって、地域住民の福祉の向上に微力ながら努めたいと思っております。